

平成23年度  
実施事業

事務事業名	し尿処理閉鎖事業
-------	----------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	3	し尿の適正処理
主要な施策	1	し尿処理施設の整備
事務事業番号	013	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	平成23年4月からし尿投入施設が供用されたことにより、従前のし尿処理場を閉鎖し、更地とすることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	汚泥貯留槽、消化槽、ばっ気槽、最終沈澱池等の各槽内の残留物の処理、清掃を実施した。 【事業実績】 ・し尿処理施設閉鎖業務委託 66,465千円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	平成25年度以降、建築設備、電気設備、機械設備の解体・撤去を実施する予定である。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事業費（財源内訳）の推移



《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		75,126			
事業費 合計				75,126			

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	各年度の事業達成率	%	目標値		100			
			実績値		100			
				目標値				
				実績値				

工事前	住所	登別市幸町2丁目5番地	工事後
第一ばっ気槽			第一ばっ気槽
最終沈澱池			最終沈澱池

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

<b>1. 事務事業の妥当性について</b>			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	一般廃棄物の処理は市町村責任で行うことから施設の閉鎖についても市が行う。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
<b>2. 事務事業の必要性について</b>			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	施設を適正に管理することにより、清潔な生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られる。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
<b>3. 事務事業の効率性について</b>			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	事業実施に係る経費は必要最小限の内容で構成されている。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
<b>4. 事務事業の成果について</b>			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	平成23年度の事業は計画とおり実施できた。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価

休 止	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	実施計画ローリング協議によりH25年度以降の実施を検討することとなった。
-----	----------------------	--------------------------------------

行政評価会議による評価

休 止	備考	
-----	----	--